

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.132 2010.3.29

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内  
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238  
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei

## 第26回 年会

8月21日(土) ~ 22日(日) 於: 岐阜市

- ◆1日目【じゅうろくプラザ】
- ◆2日目【岐阜女子大学サテライトキャンパス文化情報研究センター】

年会テーマ

教育の原点に光を当てる  
～乱流の中の本流を見出す～

第26回年会は、8月に岐阜女子大学等を会場に開催します。本日、大会の概要と研究発表の応募要項をお知らせします。ご熟読の上、期限内に手続きして下さいますようお願いいたします。ご参加とご発表を、心よりお待ちしております。

第26回年会実行委員長 村瀬康一郎

期 日: 2010年8月21日(土)・22日(日)

会 場: ◆第1日目(21日) じゅうろくプラザ

所在地 〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10番地11

交通 JR岐阜駅隣接 徒歩2分 <http://plaza-gifu.jp/index.html>

◆第2日目(22日) 岐阜女子大学サテライトキャンパス文化情報研究センター

所在地 〒500-8813 岐阜市明徳町10番地 杉山ビル4F

交通 JR岐阜駅・名鉄岐阜駅 徒歩約20分、岐阜バス約10分

<http://www.gijodai.ac.jp/circ/>

事務局: 日本教育情報学会第26回年会実行委員会

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル4F

岐阜女子大学文化情報研究センター内

E-mail: [nenkai26@gijodai.ac.jp](mailto:nenkai26@gijodai.ac.jp) Fax: 058-267-5238

Tel: 058-267-5233 (日本教育情報学会 運営本部事務局)

年会ホームページ: <http://www.gijodai.ac.jp/nenkai26/>

共 催: 岐阜女子大学、協 賛: 学習システム研究会

後 援: 岐阜県教育委員会(予定)・岐阜市教育委員会(予定)・山県市教育委員会(予定)

NPO法人日本デジタル・アーキスト資格認定機構・日本アーカイブ協会

日 程 (時間は予定)

1日目 8月21日(土) 会場:じゅうろくプラザ		2日目 8月22日(日) 会場: 岐阜女子大学サテライトキャンパス 文化情報研究センター	
9:30~	受付開始	9:30~	受付開始
10:00~12:00	課題研究発表/一般研究発表	10:00~12:00	課題研究発表/一般研究発表
12:00~13:00	昼食・休憩 (理事会・評議員会)	12:00~13:00	昼食・休憩
13:15~13:45	総会・学会賞表彰式	13:00~13:30	研究会フリートーキング
14:00~15:15	基調講演	13:30~15:30	課題研究発表/一般研究発表
15:30~16:30	特別講演		
17:00~	懇親会		

(1) 基調講演

「教育の原点に光を当てる～乱流の中の本流を見出す」 早川 信夫 (NHK 解説委員)

(2) 特別講演

「戦場カメラマンの教育論」 宮嶋 茂樹 (報道カメラマン・ジャーナリスト)

(3) 課題研究テーマ

**課題1** デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題

コーディネータ: 井上 透 (国立諫早青少年自然の家), 三宅茜巳 (岐阜女子大学)

情報社会の進展に伴い、デジタル・アーカイブの対象は、文化財を中心とした時代から、個人や地域に関わる資料、行政や企業等の資料へと多様化の道を歩んできている。また、デジタル・アーカイブ化の手法も、テキスト・静止画・動画による資料の記録を中心とした時代から、CG・GPS・立体スキャナー・多方向同時撮影といった多様な手法が用いられるようになってきた。そんな中、著作権やプライバシーに関する課題も顕在化しつつ多様化してきた。ここでは、デジタル・アーカイブの開発・活用に関わる問題点や人材育成に関する課題を議論し、今後のデジタル・アーカイブの展開についての方向性を考える。

**課題2** ICTを活用した教育支援環境

コーディネータ: 加藤直樹 (岐阜大学), 安達一寿 (十文字学園女子大学)

教師一人一台のPC利用環境が急速に整備されつつある。これに伴い校務情報システムと呼ばれるシステムが活用されはじめている。このような教育支援環境は直近では効率化を具現化するものとして認識される面があるが、経営情報としての教育改善や意思決定支援、改革支援等の長期的な観点から、優れた実践研究等を取り入れてビジョンを検討する必要がある。このためには、国内や海外の取り組みを知る必要がある。また、このような課題は初等中等教育のみならず高等教育等においても同様の課題認識があり、IR: Institutional Research への関心が急速に高まってきている。

本課題研究では、このような課題背景にもとづき、情報システムの構築、活用による教育改善・改革、調査研究等の知見から今後の教育支援環境のビジョンを考えたい。

### **課題3** 教育資料・実践

コーディネータ：林 徳治（立命館大学），久世 均（岐阜女子大学）

学校現場が抱える課題は、益々複雑化し混迷の度合いを増している。教育問題は今や、教育制度の範疇を超えて大きな社会問題として認識されるようになった。そこで、本セッションでは、教材開発、教材資料の活用上の問題点（例：著作権など含む）など学校教育を取り巻くさまざまな課題について検討すると共に、教師の自己研修と教科書の存在価値、授業研究の在り方について情報交換を行う。

### **課題4** 教育と著作権

コーディネータ：坂井知志（常磐大学），藤川義人（弁護士法人淀屋橋・山上合同）  
横山隆光（岐阜県池田中学校）

教育は多くの場合、他人の著作物を教材として利用する。そのことについて適法であるかどうかについて教職課程ではほとんど教えられてこなかった。そのため、様々な誤解や拡大解釈が教育現場に広がっている。一方、情報技術は飛躍的に変化しているため教科書と黒板という道具だけではない教育方法が広がっている。

学会の著作権等研究会の活動状況を踏まえつつ、教育関係者が自ら守らなければならない基本的なガイドラインや著作権等を意識した教育・研究活動について、法律の専門家や教育関係者で議論を深める。

### **課題5** 高等教育の改革と評価

コーディネータ：沖 裕貴（立命館大学），小川 勤（山口大学）

本セッションでは、授業の改善と評価、FDの組織化とFDの効果検証、FDプログラムの開発と効果検証、カリキュラム・デザインとカリキュラム評価、学生調査とIR、アクティブ・ラーニングの開発と効果検証、SDプログラムの開発と効果検証、TADプログラムの開発と効果検証、大学教員の職能開発と評価、教員評価などに関して研究、実践報告を集約するとともに、今日の大学に求められる改革・改善の方向性とその妥当性を検証したい。

### **課題6** 教師教育・教員研修

コーディネータ：服部 晃（岐阜女子大学），平田 誠（岐阜県教育委員会）

学校教育の成果は、究極のところ児童・生徒・学生の教育に直接携わる教員の資質能力に負うところが大きい。教師教育及び教員研修に一貫する教員の資質能力の形成過程には、①教員養成段階、②教員採用段階、そして③教員研修段階がある。近年の我が国の教師教育・教員研修に関する施策や課題等について、教員養成・教員採用・教員研修の各段階に関わる様々な立場からの教育実践・調査研究により、情報交流及び研究協議を行う。

### **課題7** ICTと特別支援教育

コーディネータ：太田容次（国立特別支援教育総合研究所）  
高市幸造（愛媛大学教育学部附属特別支援学校）

障害のある幼児児童生徒をめぐる動向として、障害の重度・重複化や多様化、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）等の幼児児童生徒への対応や、早期からの教育的対応に関する要望の高まり、卒業後の進路の多様化、ノーマライゼーションの理念の浸透などが見られるところである。こうした動向をふまえ、特別な教育的ニーズのある子どもへの情報教育の充実、コンピュータ等の教材・教具の活用や、教員や学校のICT化を進めるため等の教育情報について情報交換したい。

#### (4) 一般研究発表

- ・ 発表内容は、「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。「教育情報」とは、「教育に関する情報」と「情報に関する教育」の内容となります。
- ・ 想定される発表セッションのキーワードは次の通りです。
- ・ 応募状況に応じてセッションを設定する予定です。

#### キーワード

教育情報管理, 文献資料, 教材, 電子教科書, デジタル・コンテンツ, 教材開発, メタデータ, 情報カテゴリー, シソーラス, デジタル・アーカイブ, 知的財産権, プライバシー, カリキュラム, 教材研究, 学習評価, 授業分析, 教育システム, 共同学習 (遠隔協働学習), 交流学习, 高大連携, 生涯学習, 教師教育, 情報教育, 教科教育, 情報処理教育, eラーニング, 教育情報システム, 学習ソフトウェア開発, 学習情報管理システム, データベース, 情報検索, インターネット, 遠隔教育, 遠隔教育システム, ネットワーク, プレゼンテーション, 電子黒板, マルチメディア, 国際貢献・協力, 国際理解, 特別支援教育, 高等教育, 専門教育, 技術教育, 初等中等教育, 情報モラル, メディアリテラシー, アクティブ・ラーニング

#### (5) 研究発表申込み方法

##### ① 申込締切

2010年5月10日(月)

##### ② 申込方法

- ・ 研究発表の申し込みは原則としてメール又は郵送で下記宛先にお申し込みください。
- ・ 申込書は、第26回年会Webサイト (<http://www.gijodai.ac.jp/nenkai26/>) にある年会研究発表申込書(課題研究は「課題研究発表申込書」,一般研究は「一般研究発表申込書」)を、ダウンロードし、必要事項をご記入の上、送信ください。
- ・ その他ご不明な点は、下記実行委員会事務局にお問い合わせください。

日本教育情報学会第26回年会実行委員会 事務局

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F

岐阜女子大学 文化情報研究センター内

Tel:058-267-5233 (日本教育情報学会 運営本部事務局)

E-mail:nenkai26@gijodai.ac.jp

##### ③ 課題研究に関する注意事項

- ・ 課題研究は前記「(3) 課題研究テーマ」から選び、そのテーマに沿って研究発表題目をつけてください。
- ・ 課題研究発表は年会実行委員会で調整し、テーマごとに担当コーディネータが検討し、審査します。その結果、発表「否」となる場合もあることをあらかじめご了承ください。なお、課題研究として発表できない場合には、一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくこともあります。

- ・第1発表者（講演者）として課題研究発表は、1人につき1件のみとします。ただし、年会実行委員会から特に依頼された課題研究発表についてはこの限りではありません。

#### ④ 一般研究に関する注意事項

- ・第1発表者（講演者）としての一般研究発表は、1人につき1件のみとします。
- ・一般研究発表の発表者は、発表の時点で会員である必要があります。非会員の方は、事前に学会入会の手続きをしてください。学会入会申込書は学会運営本部事務局 (nkjg@gijodai.ac.jp) にご請求ください。

#### ⑤ 発表申込書の書き方について

- ・講演者とは、研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ・共同研究者は何人でもかまいません。
- ・概要はなるべく詳細に書いてください。
- ・キーワードとして前記一般研究発表のキーワードの中から2～5語以内を選んでください。
- ・会場で使用できる機器は、プロジェクタです。パソコンは各自で持参してください。書画カメラの使用を希望する場合、あるいは予め持参する機器がある場合は、申し込み時の大会事務局への連絡欄にその旨を記入してください。
- ・第1日目の会場ではインターネットは使用できません。
- ・執筆要項などの送付先（メールアドレス等）は、発表者への連絡時期である6月中旬を想定して、自宅または勤務先を記入してください。

#### (6) 発表者への連絡

- ① 発表者には、6月上旬までに発表の可否をメール又は郵送で連絡します。
- ② 発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。
- ③ 論文の原稿枚数は、一般研究は2枚、課題研究は4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、電子メール（デジタル原稿（pdf））又は郵送（印刷した完全原稿とデジタル原稿（pdf）を送付）で年会事務局に提出していただきます。

#### (7) 参加費について

##### ・会員事前申込締切日まで

参加費 3,000円 資料代 3,500円 懇親会費 5,000円（予定）

##### ・会員（当日）・非会員

参加費 4,000円 資料代 3,500円 懇親会費 5,000円（予定）

※ 参加申込みは、後日送付します「年会参加申込書（兼）参加費振込用紙」（郵便振替）をご利用ください。

##### ・論文集の郵送申し込みについて（年会に参加されない方）

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申し込みをしてください。年会終了後論文を送付します。 論文集 4,000円（郵送費、事務諸費を含む）

##### ・共催および後援・協賛関係の皆様

新規の方の参加を歓迎します。共催である岐阜女子大学、および後援・協賛いただいた教育委員会所属の教職員、学習システム研究会の関係者の参加は無料とします。（論文集の代金は必要です。）

## (8) 宿泊について

・宿泊に関しては、各自で手配くださいますよう、お願いします。夏休み中ですのでホテルは混み合うことが予想されます。早目の手配をお奨めします。

## (9) これからのスケジュール(予定)

- ① 発表申込締切 2010年5月10日(月)
- ② 発表決定通知 2010年6月7日(月)
- ③ 論文提出締切 2010年7月16日(金)
- ④ 参加申込締切 2010年8月6日(金) (参加費支払締切)

\*\*\*\*\* 運営本部事務局よりお願い \*\*\*\*\*

### ☆年会費お支払いについて

2009年度までの会費のお支払いが、まだお済みでない方は、新年度会費と合わせて手続をお願いいたします。(お支払いいただいた後、振込金受領書は大切に保管してください)

本学会は会員の皆様からの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

#### 学生会員の方へ

学生会員の方は、必ず「学生証」のコピー又はPDF ファイルを郵送もしくはE-mailにて運営本部事務局まで、ご送付ください。

### ☆ご登録の住所・勤務先等の変更について

ご自宅や所属先の住所等に変更がある場合は、氏名・会員番号と変更事項をご記入の上、E-mail, FAXもしくは郵送にて、運営本部事務局へご連絡ください。

### ☆学会誌「教育情報研究」の投稿について

「教育情報研究」または「ホームページ」に掲載の『投稿要領』をご確認のうえ、『投稿の手続き』および『執筆手順』に従い、『投稿票』を添えて、運営事務局へご投稿下さい。

なお、投稿票はホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei> から、ダウンロードできます。

## 日本教育情報学会 運営本部事務局

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F

岐阜女子大学 文化情報研究センター内

Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238 E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp